

国土交通省 淀川ダム統合管理事務所 独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所
資 料 配 布

配布	平成 21 年 10 月 9 日
日時	18 時 00 分

件名	10月7日・8日 ^{たかやま} 台風18号に伴う出水と高山ダムの洪水調節効果について
----	--

概要	<p>独立行政法人水資源機構木津川ダム総合管理所高山ダムでは、台風18号に伴う総雨量が241mmに達しました。</p> <p>この降雨による出水に対し、洪水調節を実施し、ダム下流の^{あり}いち市水位観測所において、水位を推定1.0m低減し、下流河川の洪水被害軽減に効果を発揮しました。</p>
----	---

取扱	今回の発表は速報値であり、今後の調査により数値等が変わることがあります。
----	--------------------------------------

同時配布	学研都市記者クラブ（京都府山城広域振興局(相楽郡)管内記者クラブ)
------	-----------------------------------

問い合わせ先			
国土交通省 淀川ダム統合管理事務所	副 所 長	はしもと 橋本	かずお 和夫
電話：072-856-3131（代表）			
独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所	管 理 課 長	まつむら 松村	たかよし 貴義
電話：0595-64-8961（代表）			

10月7日・8日 台風18号に伴う 出水と高山ダムの洪水調節効果について —木津川（有市地点）の水位を約1.0m低減—

台風18号の接近により刺激された前線の影響で、10月5日、13時頃から降り始めた降雨は、淀川水系名張川の高山ダム上流域では、8日2時から3時の1時間の雨量が最大35mmを記録し、総雨量は241mmに達しました。

この降雨による出水に対し、8日4時50分に洪水量（毎秒1300m³）に達したため、洪水調節を開始しました。

8日5時50分には流入量が最大（毎秒約1800m³）となりました。同時刻のダムからの放流量は毎秒約1240m³であり、高山ダムで毎秒約560m³の調節を行いました。

高山ダムからの放流操作は、国道163号の冠水が予想されたことから、有市水位観測所の水位を9.1m以下となるように、木津川本川の島ヶ原地点の流量、ダム貯水池容量等を勘案しながら、ダムからの放流量を検討し洪水調節を行いました。

この結果、ダム下流の有市水位観測所付近では、高山ダムと名張川上流の3ダム（青蓮寺ダム、室生ダム、比奈知ダム）の洪水調節によりダムが無い場合に比べて河川水位が推定約1.0m低減し、下流の洪水被害軽減に貢献できたものと考えられます。

高山ダムでは、今後も治水・利水の両面でダム管理に万全を期し、ダムの効果発現に努めて参ります。

高山ダム下流位置図



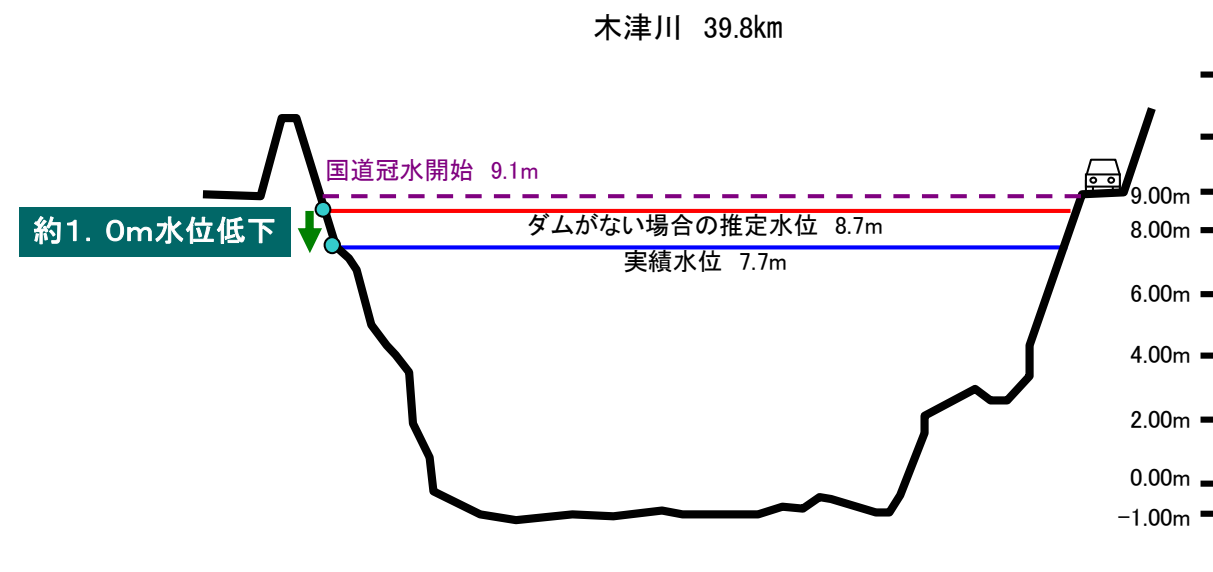
淀川流域平面図



高山ダム下流河川の状況

有市地点の水位低下効果

木津川 39.8km

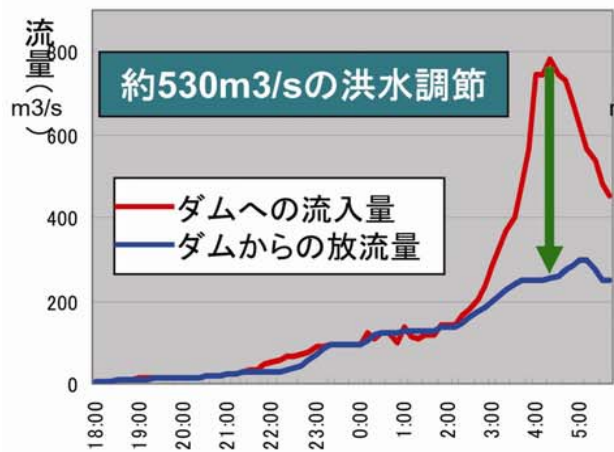


ダムによる水位低減効果は約1.0mと推定されます。

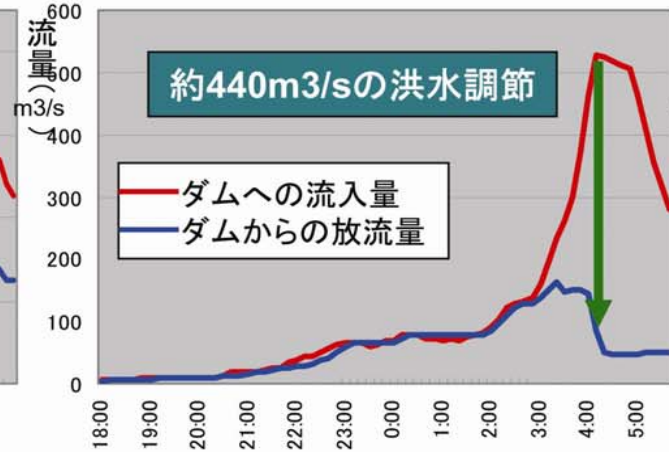
※水位の低減は高山ダムによる洪水調節のほか、名張川上流の3ダム（青蓮寺、室生、比奈知）による洪水調節効果が発揮されたことによるものです。



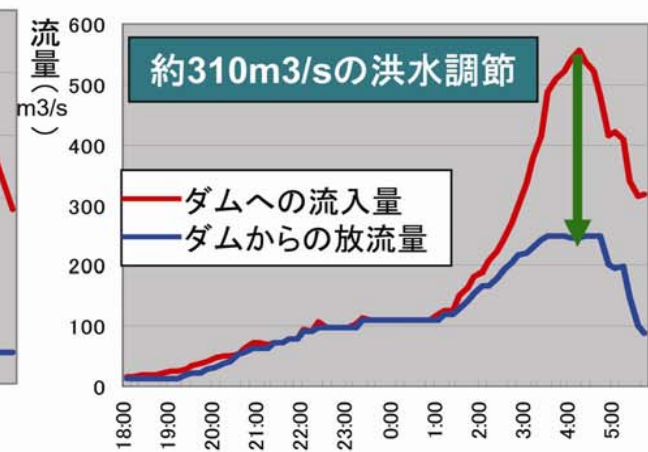
淀川水系名張川におけるダム群の洪水調節効果(速報値)



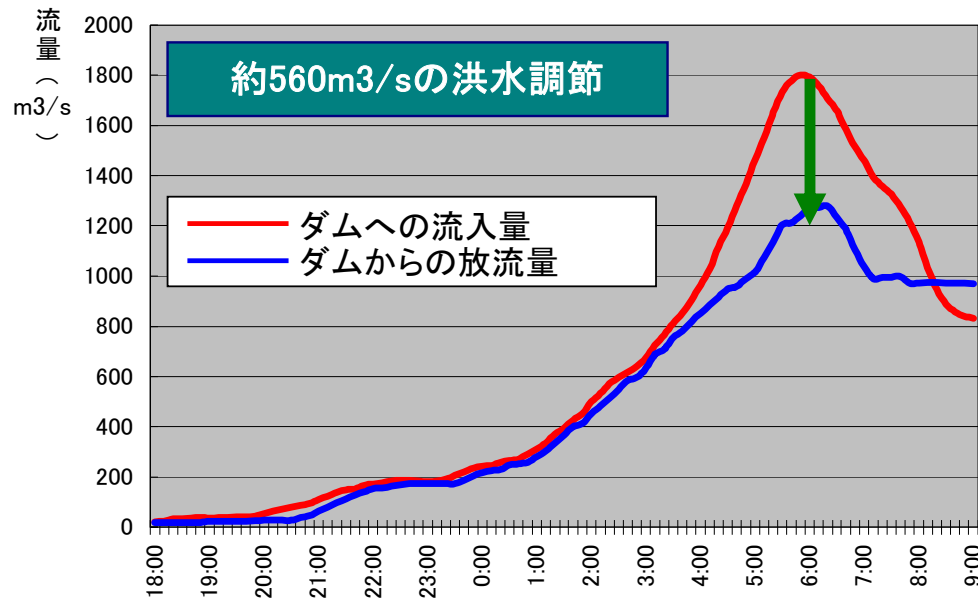
青蓮寺ダムにおける洪水調節



比奈知ダムにおける洪水調節



室生ダムにおける洪水調節



高山ダムにおける洪水調節

4ダムの洪水調節により
木津川有市地点の河川
水位が1.0m低減された
ものと推定される。

高山ダム操作概要図

